「適切なケアマネジメント手法　実践研修」開催者ガイド

令和５年３月改訂版

㈱日本総合研究所

令和４年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
「適切なケアマネジメント手法の策定、普及推進に向けた調査研究事業」にて作成

はじめに

「適切なケアマネジメント手法」実践研修は、全国各地のケアマネジャーが属する団体（協会、協議会、連絡会、ネットワーク等）や、法人、事業所等の単位で実施されることを想定しています。
開催者となる方がスムーズに研修を企画・運営できるよう、本冊子を作成しました。
研修を開催するにあたってのヒントになる情報も記載しています。ぜひ、本冊子をご一読ください。

◆　実践研修における開催者の対応事項

研修の流れ	開催者が行うこと（概要） ※詳細は以降のページで詳しく説明しています。
事前準備	・研修の企画 ・参加者の募集とグループの決定 ・研修資料の回収・共有方法の検討 ・研修教材の準備
第 1 回研修	・研修の進行 ・資料、研修アンケートの回収
現場実践① （第 1～2 回の間）	・ワークシートの事前回収、参加者への共有 ・グループ進行役のフォロー（必要に応じて）
第 2 回研修	・研修の進行 ・研修後アンケートの回収
現場実践② （第 2～3 回の間）	・ワークシートの事前回収、参加者への共有 ・グループ進行役のフォロー（必要に応じて）
第 3 回研修	・研修の進行 ・研修後アンケートの回収
現場実践③ （第 3～4 回の間）	・ワークシートの事前回収、参加者への共有 ・グループ進行役のフォロー（必要に応じて）
第 4 回研修	・研修の進行 ・資料、研修後アンケートの回収

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

本書について

本マニュアルでは、説明する内容を明確にするため、以下の表記を使用しています。

補足

補足事項を記述しています。

参照

参照先を記述しています。

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

目次

はじめに **2**

本書について **3**

目次 **4**

1　実践研修について **5**

1.1　実践研修プログラム展開の背景 5

1.2　本研修のねらい 5

2　研修の教材 **6**

2.1　実践研修の資料 6

2.2　研修で使用する資料 8

2.3　研修講義動画 9

2.4　実践研修の運営にあたっての参考動画 10

3　研修開始前の対応事項 **12**

3.1　研修の企画 12

3.2　参加者の募集とグループの決定 14

3.3　研修資料の回収・共有方法の検討 14

3.4　研修教材の準備 15

4　研修運営時の対応事項 **17**

4.1　研修の進行 17

4.2　グループ進行役のフォロー 19

5　よくある質問 **20**

5.1　事例の変更への対応 20

5.2　結果分析 20

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

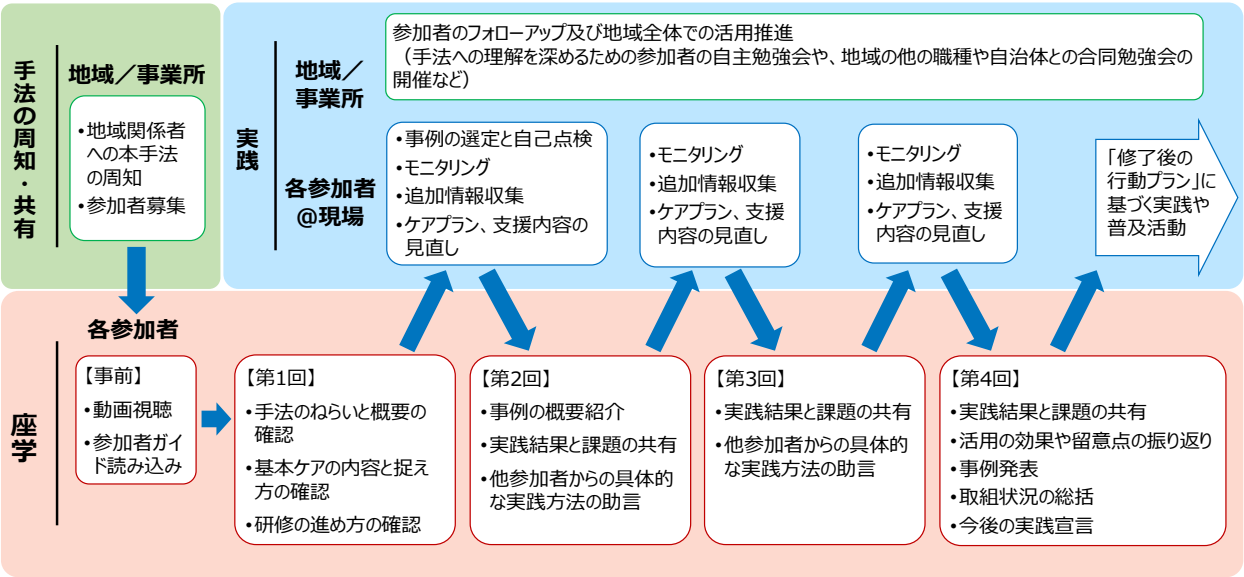
1 実践研修について

1.1 実践研修プログラム検討の背景

2016（平成 28）年度から始まった「適切なケアマネジメント手法」に関する調査研究事業では、多職種連携の推進に資するよう、ケアマネジメントにおいて**利用者の状態に応じて想定すべき支援に関する共有知の体系**の検討が進められてきました。2020（令和 2）年度までに**「基本ケア」と 5 つの「疾患群別ケア」**から成る「令和 2 年度改訂版」の完成に至りました。
多くのケアマネジャーが本手法を理解し、活用できるようになることを目指す研修の場として、4 回構成の研修プログラムである「適切なケアマネジメント手法　実践研修」（以下、実践研修）を 2021 年度に開発しました。
実践研修は、2021（令和 3）年度に試行実施、2022（令和 4）年度には全国規模での実証を行っています。これらの結果を踏まえて、**「適切なケアマネジメント手法　実践研修」（令和 4 年度改訂版）**の研修プログラムを公開することになりました。

1.2 本研修のねらい

本研修は、「適切なケアマネジメント手法」（以下、本手法）が提示している思考・視点を担当事例に適用させること（＝現場実践）を通じて、**支援内容の仮説を元に考え、他の専門職と連携しながらアセスメント・モニタリングを行う**重要性を実感すること、そして具体的なやり方を修得することをねらいとしています。
座学での知識修得・スーパービジョンと、現場実践を行き来することで、本手法の考え方や活用に当たっての工夫・留意点などを、実践を振り返りつつ学ぶように促す設計となっています。



2　研修の教材

2.1　実践研修の資料

実践研修の資料として日本総合研究所が作成・公開しているものです。
開催者にて内容を確認し、必要に応じて加筆等をした上で、参加者に配布してください。

◆　参加者ガイド

「適切なケアマネジメント手法」実践研修の参加者向けのガイドです。
開催者にて日程や連絡先等を加筆の上、ご活用ください。

資料名	使用する回	URL	QR コード
「適切なケアマネジメント手法実践研修」 参加者ガイド	研修を通じて使用	https://www.jri.co.jp/file.jsp?id=104894	

◆　研修テキスト

「適切なケアマネジメント手法」実践研修の第 1 回から第 4 回までの研修テキストです。
開催者にて日程や連絡先等を加筆の上、ご活用ください。

資料名	使用する回	URL	QR コード
「適切なケアマネジメント手法実践研修」研修テキスト（第 1 回～第 4 回）	研修を通じて使用	https://www.jri.co.jp/file.jsp?id=104893	

◆　ワークシート

実践研修の受講にあたって、参加者が事前に記入するシートです。
「自己紹介＆目標設定シート」は、第 1 回研修後に提出してもらいます。
「現場実践振り返りシート」、「今後の実践宣言シート」は、事前に記入して提出してもらい、研修前にグループメンバー内で共有することが望ましいです。研修前にグループ内で共有できるよう、開催者にて仕組みを検討してください。

参照

共有の仕組みについては、p.14 3.3 研修資料の回収・共有方法の検討」を参照してください。

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

資料名	使用する回	URL	QR コード
自己紹介＆目標設定シート	第 1 回	https://www.jri.co.jp/file.jsp?id=104886	
現場実践①振り返りシート	第 2 回	https://www.jri.co.jp/file.jsp?id=104887	
現場実践②振り返りシート	第 3 回	https://www.jri.co.jp/file.jsp?id=104888	
現場実践③振り返りシート	第 4 回	https://www.jri.co.jp/file.jsp?id=104889	
今後の実践宣言シート	第 4 回	https://www.jri.co.jp/file.jsp?id=104890	

◆ アンケート（案）

各研修実施後に実施するアンケートの案です。

開催者にて日程や連絡先等を加筆の上、ご活用ください。実施は任意です。

資料名	使用する回	URL	QR コード
第 1 回研修アンケート	第 1 回	https://www.jri.co.jp/file/xlsm/service/special/content11/corner113/230327_questionnaire1.xlsx	
第 2 回研修アンケート	第 2 回	https://www.jri.co.jp/file/xlsm/service/special/content11/corner113/230327_questionnaire2.xlsx	
第 3 回研修アンケート	第 3 回	https://www.jri.co.jp/file/xlsm/service/special/content11/corner113/230327_questionnaire3.xlsx	
第 4 回研修アンケート	第 4 回	https://www.jri.co.jp/file/xlsm/service/special/content11/corner113/230327_questionnaire4.xlsx	

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

補足

日本総合研究所にて公開している研修テキスト、参加者ガイド、ワークシート、アンケートはいずれも雛型であり、**内容の追加・削除等、変更していただいて構いません。**
研修の時間や資料の締切設定等も、過去に行われた実践研修を参考とした目安です。

2.2　研修で使用する資料

「適切なケアマネジメント手法」の普及に向けて、日本総合研究所が作成・公開しているものです。
実践研修を受講する上で必要になるため、電子ファイル等で参加者に配布してください。

◆　概要版（項目一覧）基本ケア

「適切なケアマネジメント手法」の 44 項目の概要をまとめた一覧表です。

資料名	使用する回	URL	QR コード
令和 2 年度概要版（項目一覧）基本ケア	研修を通じて使用	https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/pdf/210414_r2kihoncare.pdf	

◆　概要版（項目一覧）基本ケア　冊子版

「令和 2 年度概要版（項目一覧）基本ケア」の内容を冊子としてまとめたものです。
一覧表と冊子版の使いやすい方を選べるよう、参加者に配布してください。

資料名	使用する回	URL	QR コード
概要版（項目一覧）基本ケア　冊子版	研修を通じて使用	https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/pdf/service/special/content11/corner113/230403_kihoncare.pdf	

◆　ケアの冊子

「基本ケア」の詳細が記載されています。

資料名	使用する回	URL	QR コード
ケアの冊子（適切なケアマネジメント手法基本ケア及び疾患別ケア令和 2 年度改訂版）	研修を通じて使用	https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/pdf/210414_tekisetunacare_r2kai.pdf	

© 2023　The Japan Research Institute, Limited

◆ 自己点検シート（案）（基本ケア）

実践研修を受講する上で必要になるため、参加者に配布してください。

資料名	使用する回	URL	QR コード
自己点検シート（案） （基本ケア）	第 1 回 第 4 回	https://www.jri.co.jp/file/column/opinion/pdf/220408_7_zikotenken.xlsx	

2.3　研修講義動画

第 1 回研修の講義部分は、日本総合研究所にて講義動画を作成しています。

第 1 回研修を実施する際にご活用ください。

タイトル	URL	QR コード
【実践研修講義_1】「適切なケアマネジメント手法」のねらいと概要の確認（第 1 回研修講義）	https://youtu.be/XikXhnJbWiQ	
【実践研修講義_2】基本ケアの内容と捉え方（第 1 回研修講義）	https://youtu.be/VThUhKN2X7I	
【実践研修講義_3】実践研修の進め方①研修の流れとねらい（第 1 回研修講義）	https://youtu.be/uGfyn9m-MIU	
【実践研修講義_4】実践研修の進め方②事例の掘り下げの体験（第 1 回研修講義）	https://youtu.be/9ydp-wbMHd8	

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

2.4　実践研修の運営にあたっての参考動画

実践研修に参加される方向けに日本総合研究所が作成した動画です。
以下は、実践研修に関するよくある質問をまとめた動画、受講方法を解説している動画です。参加者からの質問対応の参考としてご覧ください。

タイトル	URL	QR コード
【適切なケアマネジメント手法】実践研修　Q&A 解説～考え方編～	https://youtu.be/MAVD7j9gxoo	
【適切なケアマネジメント手法】実践研修　Q&A 解説～実践編～	https://youtu.be/-CjCL4QBPlA	
【実践研修受講方法】 「自己点検」「実践研修」効果・意義について	https://youtu.be/SShQ-fY6o0Q	
【実践研修受講方法】 概要版（項目一覧）の見方	https://youtu.be/kDvAkj_yMcQ	
【実践研修受講方法】 現場実践　振り返りシートの書き方 ※令和 5 年 3 月にシートの様式を改定したため、動画中のシートは今回使用する様式と異なります。	https://youtu.be/vIMV26PaSA8	
【実践研修受講方法】 実践研修のグループワークの進め方と留意点	https://youtu.be/K9hbvlDlyw4	

© 2023　The Japan Research Institute, Limited

以下は、グループワークのデモ動画です。グループワークのイメージを持つための参考としてご覧ください。

タイトル	URL	QR コード
【実践研修】グループワークデモ動画～第 2 回研修～	https://youtu.be/HHEaODVb6q8	
【実践研修】グループワークデモ動画～第 3 回研修～	https://youtu.be/fHZowKjmwKQ	

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

3　研修開始前の対応事項

3.1　研修の企画

◆　全体の構成の検討

実践研修は全 4 回の構成になっています。

参加者が「適切なケアマネジメント手法」にふれたことがない場合は、**研修に先立って手法を知る場として「適切なケアマネジメント手法　実践セミナー」を実施することをお勧めします。**

セミナーの内容としては、**実践研修の事前課題としている「適切なケアマネジメント手法」の手引きの解説動画の視聴がお勧めです。**5 章の「疾患別ケア」を除く以下 5 つの動画を視聴すると、手法および「基本ケア」の概要の理解につながります。

実践セミナーの実施有無に応じて、参加者ガイド p.13 の記述を修正してください。

タイトル	URL	QR コード
1 章_適切なケアマネジメント手法って何だろう？【手引き解説】	https://youtu.be/Y5ExbRb2v5w	
2 章_適切なケアマネジメント手法の基本的な考え方【手引き解説】	https://youtu.be/aKXcg4VIMRs	
3 章_適切なケアマネジメント手法をどう取り入れる？【手引き解説】	https://youtu.be/_7Dw01FBao8	
4 章_基本ケアの理解を深める【適切なケアマネジメント手法の手引き解説】	https://youtu.be/DWd4S2Ss2KU	
6 章_適切なケアマネジメント手法の活用【手引き解説】	https://youtu.be/RhoPD8zOEdg	

補足

2022（令和 4）年度の開催では、実践セミナーは実践研修よりも広く参加者を募った場合もありました。
ケアマネジャーに限らず多職種も参加して、手法の概要を知る場とした例もあります。

© 2023　The Japan Research Institute, Limited

◆ 対象者の検討

実践研修は、ベテランの方から初任者の方まで、幅広い層にご参加いただけます。
2022（令和4）年度に全国で実証を実施した際は、参加者の要件を「実務経験が２年以上であること」、「手法を当てはめる担当事例があること」、「研修への参加（全４回）と実践（全３回、各１ヵ月間）ができること」の３点としました。

◆ 開催方法の検討

実践研修は、オンライン、対面、オンラインと対面のハイブリッドのいずれの形式でも実施できます。
参加者ガイドはオンラインを前提として作成していますので、**対面で行う場合はガイドから「ミーティング ID」、「パスコード」といった枠を削除し、集合場所等を記載してください。**研修テキストは、**「画面共有」に関する記述の修正をお願いします。**

◆ 開催日程の検討

実践研修は、全４回の研修を基本としています。
研修と研修の間を１カ月以上空けて設定すると、参加者が現場実践に取り組む期間が確保できます。
第２回、第３回はグループワークが中心になるので、グループごとに実施しても構いません。

	主な内容	所要時間
第１回研修	・「適切なケアマネジメント手法」のねらいと概要 ・基本ケアの内容と捉え方（個人ワーク、グループワークを含む） ・実践研修の進め方 ・事例の掘り下げの体験（個人ワーク、グループワークを含む） ・事例選定、自己点検、事例関連資料の記入	３時間
第２回研修	・現場実践①の振り返り（事例紹介、実践結果の共有、実践方法の助言） ・全体共有	２時間
第３回研修	・現場実践②の振り返り（実践結果の共有、実践方法の助言） ・全体共有	２時間
第４回研修	・現場実践③の振り返り（グループワークを含む） ・取り組み事例の紹介 ・全体講評・総括 ・自己評価・振り返り（個人ワークを含む）	３時間

補足

2022（令和４）年度の開催では、**全４回の日程を決定してから参加者を募集する場合**と、**参加者を募集・決定してから参加者が参加できる日程を決める場合**がありました。想定される参加者が多い場合は、日程を先に決定した方がスムーズに進むかもしれません。

3.2　参加者の募集とグループの決定

◆　参加者募集・決定

参加者を募集・決定してください。

実践研修のグループは、**グループワークを進行する「グループ進行役」が１名、グループメンバーが４～５名の構成を想定**しています。

参加者募集について、過去にはグループ進行役の人数に応じて参加者人数を決定する場合もありました。

補足

グループ進行役の人数に応じて参加者人数を決定する例として、「グループ進行役をできる方が 5 人のため、参加者は 5 グループ×4 名＝20 名前後とする」という場合がありました。

◆　グループとグループ進行役の決定

参加者をグループに分け、グループ進行役を決定してください。

過去には、グループ進行役を 2 名として 2 名でフォローしあいながら進行する場合もありました。

補足

2022（令和 4）年度に県単位で開催した地域では、圏域ごとにグループを構成するケースと、違う圏域の参加者でグループを構成するケースがありました。

圏域ごとにグループを構成する場合には、実践研修の場以外でも参加者がコミュニケーションをとりやすい、実践研修終了後も活用できるネットワークが形成されるといったメリットがあるとの声がありました。

違う圏域の参加者でグループを構成する場合には、別の地域の状況が分かる、普段の人間関係とは切り離されるためグループワークで意見が言いやすいというメリットが聞かれています。

◆　参加者番号の付与（任意）

開催者にて参加者や提出資料を管理する上で必要があれば、参加者に参加者番号を付与してください。

ワークシートやアンケートの雛型には「参加者番号」の枠を設けています。不要の場合は削除してください。

3.3　研修資料の回収・共有方法の検討

◆　研修前に回収する資料

ワークシートと事例関連資料は、グループワークで使用します。

研修開始前に同じグループの参加者の資料がそれぞれの参加者の手元にあると、グループワークをスムーズに進行することができます。

研修前に資料を回収し、グループごとに資料を共有する仕組みがあると望ましいです。

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

◆ 回収・共有の方法（案）

過去には以下のような方法で資料を回収していた場合があります。

ツール	回収方法	共有方法
オンラインストレージ	Box、Google Drive 等のオンラインストレージをグループごとに開設し、参加者がアップロード。	参加者はオンラインストレージ上で他の参加者の資料を確認。
メール	参加者が開催事務局に送付。	開催事務局にて提出資料をグループごとに整理し、参加者にメールで送付。
	参加者がグループ進行役に送付。	グループ進行役が全員分を取りまとめてグループメンバーに送付。
	参加者同士でメールアドレスを共有し、グループメンバーに直接送付。	メールで直接受領。
紙資料	参加者が事前に開催事務局にメール等で送付。	開催事務局にて印刷し、当日会場で参加者に配布。

3.4 研修教材の準備

◆ 参加者ガイドの確定

参加者ガイドには、研修情報、資料の提出先と提出期限、問い合わせ先の追記が必要です。

① 研修情報の追記

「研修日程」の追記をお願いします。

オンラインで行う場合は、「表示名」、「ミーティング ID」、「パスコード」、「URL」も記載してください。

該当箇所：p.11、p.16、p.23、p.25、p.27

② 資料の提出先と提出期限の追記

資料の提出方法（オンラインストレージ、メール等）、提出先（オンラインストレージの URL、メールアドレス等）、提出期限の追記をお願いします。

研修前の提出は研修 1 週間前、研修後の提出は研修 1 週間後を提出期限としていますが、期限は開催者にてご検討ください。

該当箇所：p.17、p.23、p.24、p.25、p.26、p.27、p.28

③ 問い合わせ先

研修に関する問い合わせ先の追記をお願いします。

該当箇所：p.48

④　Zoom **の操作方法**

Zoom を使用する場合は、接続開始時間や表示名のルールを確認し、適宜修正してください。
Zoom を使用しない場合は、ページを削除してください。
該当箇所：p.52～57

◆　研修テキストの確定

参加者ガイドと同様に、研修テキストには追記が必要です。

①　表紙の作成

それぞれの研修の回ごとに**「開催日」と「開催者」の追記をお願いします。**
該当箇所：p.1、p.68、p.85、p.103

②　研修時間の追記

それぞれの研修の**「本日のタイムテーブル」のスライドに時間を記載してください。**
該当箇所：p.5、p.71、p.88、p.105

③　研修情報の追記

それぞれの研修の**「今後の進め方」のスライドに研修日程の追記をお願いします。**
該当箇所：p.63、p.81、p.98

④　資料の提出先と提出期限の追記

資料の提出方法（オンラインストレージ、メール等）、提出先（オンラインストレージの URL、メールアドレス等）、提出期限の追記をお願いします。
研修前の提出は研修 1 週間前、研修後の提出は研修 1 週間後を提出期限としていますが、期限は開催者にてご検討ください。
該当箇所：p.58、p.64、p.65、p.82、p.83、p.99、p.100、p.126

⑤　問い合わせ先

研修に関する問い合わせ先の追記をお願いします。
該当箇所：p.67、p.83、p.100、p.126

◆　提出資料の検討

研修テキストやガイドにて、事例関連資料（ケアプラン、その他参考資料）は任意提出としています。
事例関連資料を任意提出とするか、必須提出とするか、提出不要とするかは開催者にてご判断ください。

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

4 研修運営時の対応事項

4.1 研修の進行

◆ 第 1 回研修

第 1 回研修の流れは以下のとおりです。**開催者にて、全体進行をお願いします。**
オンラインの場合は、グループワークの際にグループを設定してください。

No.	時間	セクション	内容	備考
1	10′	開会	開会宣言、本日の進め方の説明	
2	15′	講義	「適切なケアマネジメント手法」のねらいと概要の確認	講義動画あり
3	20′	講義	基本ケアの内容と捉え方　①概要	講義動画あり
4	25′	演習	基本ケアの内容と捉え方　②基本ケアの読み込み	グループワークあり （グループ進行役が進行）
5	10′	休憩		
6	15′	講義	実践研修の進め方　①研修の流れとねらい	講義動画あり
7	55′	演習	実践研修の進め方　②事例の掘り下げの体験	講義動画あり グループワークあり （グループ進行役が進行）
8	15′	講義	実践研修の進め方　③事例選定と資料の記入	
9	10′	講義	質疑応答	
10	5′	閉会	本日のまとめと今後の進め方	

No.3 の「基本ケアの内容と捉え方　①概要」、No.4 の「基本ケアの内容と捉え方　②基本ケアの読み込み」、No.6 の「実践研修の進め方　①研修の流れとねらい」、No.7 の「実践研修の進め方　②事例の掘り下げの体験」は**日本総合研究所にて動画を公開しています**（p.9 の「 2.2 研修で使用する資料」を参照）。
動画のない部分については、研修テキストに沿って開催者で進行をお願いします。
No.9 の「質疑応答」は、手法に関しての質疑応答ではなく、研修に関する質疑応答（研修の開催方法、資料の提出方法等）を想定しています。手法に関しての質問は、本ガイド p.23 に記載の日本総合研究所の事務局までご連絡ください。

◆　第 2 回･第 3 回研修

第 2 回･第 3 回研修の流れは以下のとおりです。**開催者にて、全体進行をお願いします。**
グループワークがメインの研修です。**オンラインの場合は、グループワークの際にグループを設定してください。**

No.	時間	セクション	内容	備考
1	5′	開会	進め方の説明	
2	100′	演習	現場実践の振り返り　①グループワーク	グループワークあり （グループ進行役が進行）
3	10′	演習	現場実践の振り返り　②全体共有	
4	5′	閉会	本日のまとめと今後の進め方	

補足

2022（令和 4）年度には、第 2 回･第 3 回研修の No.1 の「開会」セクションで、独自に「適切なケアマネジメント手法」の振り返りの時間を入れる地域もありました。必要に応じて内容をご検討ください。

◆　第 4 回研修

第 4 回研修の流れは以下のとおりです。**開催者にて、全体進行をお願いします。**
オンラインの場合は、グループワークの際にグループを設定してください。

No.	時間	セクション	内容	備考
1	8′	開会	本研修のねらいの振り返り、本日の進め方の説明	
2	67′	演習	現場実践の振り返り	グループワークあり （グループ進行役が進行）
3	10′	休憩		
4	40′	演習	取り組み事例の発表	事前に発表者を選出
5	10′	講義	取り組み事例や実践状況への総括	
6	30′	演習	今後の実践宣言、研修の振り返り	グループワークあり （グループ進行役が進行）
7	5′	閉会	今後に向けて	

No.4 の「取り組み事例の発表」は、何名かの方に実践研修を通じての取り組みを発表していただく内容です。
第 4 回研修の前に開催者で何名か発表者を選出し、研修テキストの p.116～119 を事前に記載の上で発表いただくことを想定しています。発表人数や発表時間は開催者にてご検討ください。
No.5 の「取り組み事例や実践状況への総括」では、開催者や研修関係者から研修についてのフィードバックをお願いします。

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

4.2　グループ進行役のフォロー

◆　グループ進行役の役割

グループ進行役には、グループワークのタイムキープや進行を行うだけでなく、議論のファシリテーションや参加者へのアドバイスをしていただけると、実践研修の効果が高まります。

一方で、グループ進行役に進行以上の役割を期待する場合、グループ進行役の負担が増加することが懸念されます。

◆　フォローの方法（案）

2022（令和 4）年度には、開催者とグループ進行役の間で認識を合わせるとともに、グループ進行役からの相談を受けるフォローの場を設けた場合もありました。

研修前後で開催者とグループ進行役で打合せを行い、研修のねらいや進め方を確認するとともに、各グループの状況や困りごとを共有することで、上手く運営できたという声もあります。

5　よくある質問

5.1　事例の変更への対応

実践研修では、参加者が自身の事例を選んで研修を行います。
事例として選んだ方が入所されたり亡くなったりした場合には、新たに他の事例を選定してもらう、参加者には事例提出者ではなくコメント・アドバイス役として研修に参加してもらう等、開催者にて対応をご判断ください。

補足

2022（令和４）年度は、研修前半（第２回まで）に相談があった場合には、研修が半分以上残っているため、新たな事例を選定してもらいました。研修後半（第３回以降）は、コメント・アドバイス役として参加してもらいました。

5.2　結果分析

以下の資料は、2023（令和４）年３月に行われたセミナーで、日本総合研究所が自己点検シートやアンケートをもとに結果を報告した資料です。結果分析の参考にしてください。

タイトル	URL	QR コード
令和 4 年度「適切なケアマネジメント手法実践研修」結果報告	https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/pdf/230316_tekisetsunacare_fukyuseminar_05.pdf	

◆　自己点検シートの結果分析

上記の結果報告資料の以下の結果は、自己点検シートのデータを活用したものです。

タイトル	該当ページ	補足
情報収集を行った項目	p.16	（1）ケアプラン作成時点の判断の「①情報収集」と（3）研修受講後の状況、判断の「①情報収集」でそれぞれで「○」を回答した参加者の割合を項目別に示したもの。
情報収集を行った項目	p.17	（1）ケアプラン作成時点の判断の「①情報収集」で「×」を回答した参加者が、（3）研修受講後の状況、判断の「①情報収集」で「○」に変化した件数を項目別に示したもの。
支援内容の見直しの必要性を感じた項目	p.18	（3）研修受講後の状況、判断の「①支援内容の見直しの必要性」で「1」「2」を回答した参加者数を項目別に示したもの。

© 2023 The Japan Research Institute, Limited

◆ アンケートの結果分析

上記の結果報告資料の以下の結果は、自己点検シートのデータを活用したものです。

タイトル	該当ページ	補足
実践研修における理解度の推移	p.15	第１回から第４回までのアンケート（案）の問 2「本日の研修の内容は理解できましたか。」の回答の割合を示したもの。
現場実践を通じた他の職種との関わり方	p.19	第４回アンケート（案）の問 8「現場実践を通じて、他職種（医師、他の専門職、サービス事業所）とはどのような関わり方を行いましたか。」の回答の割合を選択肢別に示したもの。
研修を通じて見られたケアチームの変化	p.21	第４回アンケート（案）の問 9「現場実践を通じて、本人や家族、ケアチームに変化は見られましたか。」のうち「ケアチーム」の回答を選択肢別に示したもの。
研修を通じて見られた利用者の変化	p.22	第４回アンケート（案）の問 9「現場実践を通じて、本人や家族、ケアチームに変化は見られましたか。」のうち「利用者本人」の回答を選択肢別に示したもの。
研修を通じて見られた家族や支援者等の変化	p.22	第４回アンケート（案）の問 9「現場実践を通じて、本人や家族、ケアチームに変化は見られましたか。」のうち「家族や支援者等」の回答を選択肢別に示したもの。
現場実践を通じた支援内容の見直しの有無	p.24	第４回アンケート（案）の問 4「現場実践を通じて、支援内容の見直し（追加/縮小/内容変更/サービス事業所の個別計画への反映等）はありましたか。」と問 5「現場実践を通じて、ケアプランの見直しを行いましたか。」の回答を示したもの。
各研修の満足度	p.26	第１回から第４回までのアンケート（案）の問 1「本日の研修を終えて、あなたの気持ちに最も近い番号を一つ選んでください。」の回答の割合を示したもの。
取り組みに不安を感じる参加者の割合	p.28	第１回アンケート（案）の問 7、第４回アンケート（案）の問 12 の「あなたの現在の実践状況と、取り組みにあたっての不安感をお伺いします。」の「取り組みにあたっての不安感」で「1」「2」の回答合計の割合を示したもの。
本研修を通じてケアマネジャーとしての自信が高まった	p.29	第４回アンケート（案）の問 13「今のあなたの気持ちに最も近い番号を一つお選びください。」の「本研修を通じて、ケアマネジャーとしての自信が高まった」の回答を示したもの。
本研修が継続的に実施される場合、自分で再度受講したい	p.30	第４回アンケート（案）の問 13「今のあなたの気持ちに最も近い番号を一つお選びください。」の「本研修が継続的に実施される場合、自分で再度受講したい」の回答を示したもの。

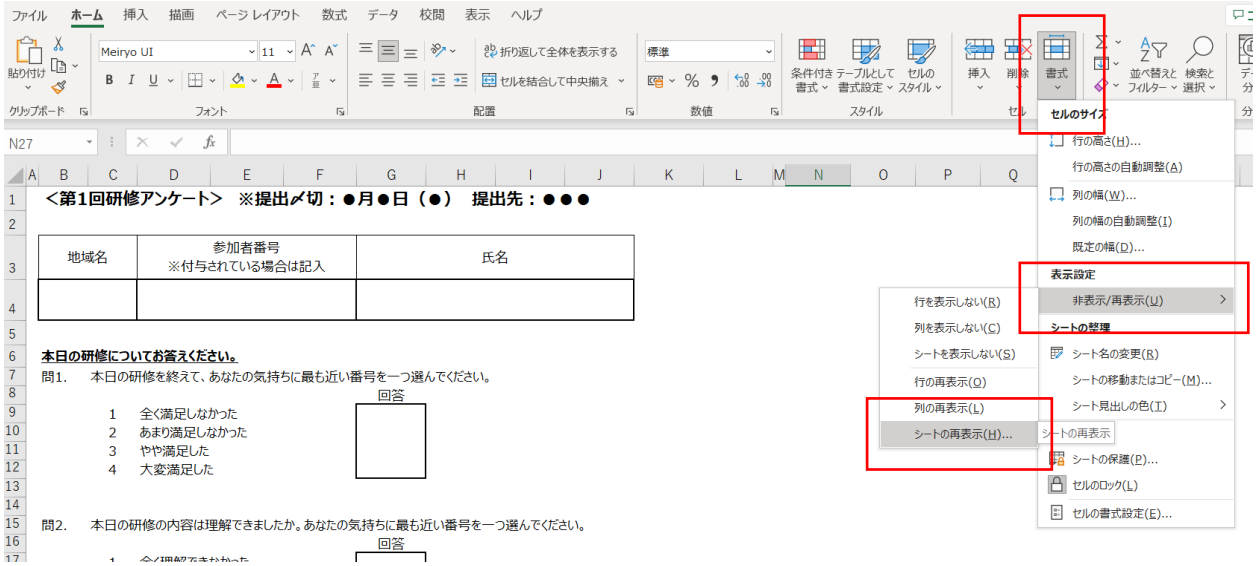
© 2023 The Japan Research Institute, Limited

タイトル	該当ページ	補足
本研修が継続的に実施される場合、同僚や後輩に参加を勧めたい	p.30	第第４回アンケート（案）の問 13「今のあなたの気持ちに最も近い番号を一つお選びください。」の「本研修が継続的に実施される場合、同僚や後輩に参加を勧めたい」の回答を示したもの。
実践研修の内容はケアマネジメント業務に活かせそうか	p.31	第４回アンケート（案）の問 10「実践研修の内容は、ケアマネジメント業務に活かせそうですか。」の回答を示したもの。
今後の実践において「適切なケアマネジメント手法」を活用したい	p.31	第４回アンケート（案）の問 13「今のあなたの気持ちに最も近い番号を一つお選びください。」の「今後の実践において「適切なケアマネジメント手法」を活用したい」の回答を示したもの。

◆　アンケートの集計

アンケートの Excel ファイルでは、「ホーム」⇒「書式」⇒「非表示／再表示」から「シートの再表示」を選択すると、事務局用の集計シートを表示することができます。集計の際にご活用ください。

参加者に配布する際は、集計シートを再度非表示にしてからお送りください。



© 2023　The Japan Research Institute, Limited

6 問い合わせ先

◆ **適切なケアマネジメント手法や関連する事業についてのお問い合わせ**

「適切なケアマネジメント手法」や日本総研が実施する関連事業に関するお問合わせについては、以下の連絡先にお問合せください。

- 適切なケアマネジメント手法研修会事務局　株式会社日本総合研究所　創発戦略センター
- E-mail：100860-care@ml.jri.co.jp

© 2023 The Japan Research Institute, Limited